

令和３年度 第３回徳島県健康対策審議会

１ 日時 令和４年３月１７日（木） 午後７時から午後８時３０分まで

２ 場所 徳島県医師会館 研修室

３ 出席者

（１）委員 １６名中 全員出席（うち、１４名WEB参加）

（出席委員 ５０音順）

青田桂子委員、今井義禮委員、今川玲代委員、岩佐武委員、小川和宏委員、
奥田紀久子委員、郡尋香委員、斎藤恵委員、齋藤義郎委員、西岡安彦委員、
船戸豊子委員、松村晃子委員、柳沢志津子委員、山上敦子委員、渡辺浩良委員、
川城政人委員

（２）県

保健福祉部長、感染症・疾病予防統括監、健康づくり課長ほか

【会議次第】

１ 開 会

２ あいさつ

３ 議 事

（１）会長及び副会長の選任について

（２）全国がん登録情報について

（３）「健康徳島２１」、「徳島県歯科口腔保健推進計画」の進捗状況について

（４）その他

４ 閉 会

【質疑概要】

（委員）

がん対策の取組の状況について、がん検診は以前から受診率が低いと言われていますが、全国的に受診率の高い都道府県は何％くらいの受診率でしょうか。また、徳島県はどうして低いのでしょうか。

（事務局）

受診率につきましては、手元に詳細のデータがないので、申し訳ございません。

徳島県は各がんの種類ごとに、４０位台となっております。受診率の低さについては、県民の方が、がんが不治の病でないという認識であること、検診によりがんが発覚することを恐れて受診されない方が多いことが挙げられます。

（委員）

受診率が高いところを参考に、何か考えて欲しいと思います。いつも「受けなさい、受けなさい」の宣伝だけでは、あまり受診しないと思います。

（事務局）

高い受診率の都道府県を確認しますと、周りの人と一緒に受診する。無関心の人でも周りからの声かけ、周りの声に押されて受診する人が多いことが要因となっております。小さなコミュニティ、小さな単位からの呼びかけが今後必要になると認識しております。

（委員）

都会に比べると、徳島は、寄り合いなど非常に多いと思いますので、利用したらいいと思います。よろしくお願いいたします。

（委員）

コロナでいろいろな対策が影響を受けて、また保健所の方々も大変忙しい中、できる限りの対策を進めていただいていることがよく分かりました。

一方、がんの受診率については、ご質問がありましたように、もっと上げていく必要があると思っております。学会等でも問題になっているように、コロナでがん検診の受診率が低下していて、進行がんで受診する人が増えてきていると言われています。

資料のデータによりますと、令和元年データが改定時のデータ（Ｈ２８）と比べてあまり変わっていないような数値になっています。メディア等を利用して、がん検診をしっかり受けるような呼びかけをしっかりといただければと思います。具体的に予定しているものはあるのでしょうか。

（事務局）

テレビコマーシャルの放映を考えております。その他、ＳＮＳ 動画配信サイトにて動画を作って呼びかけていきたいと考えております。

（委員）

ＣＯＰＤについては、認知度が上がっていないのが問題かと思っております。

また、循環器病対策について、産学官の連携（ノバルティスファーマとの連携）の話がありましたが、もし活動ができるのであれば協力したいと思います。

（事務局）

ご協力いただけたところを相談させていただければと思います。よろしくお願いいたします。

(委員)

この4月から、子宮頸がんワクチンが再開されるようになりましたが、県において予定されている啓発活動があれば教えていただければと思います。

当団体では、「ジョイセフが啓発活動をするので協力してほしい」と言われています。

(事務局)

感染症対策課の事業となりますが、予算を計上して啓発活動をやっていくとのことです。

(委員)

副反応の件とか不安が拭いきれない部分もあるのですが、徐々に打つ方も増えていると聞いていますので、今後良い方向にいくのではないかと考えております。

(事務局)

保健福祉部として、子宮頸がんワクチンの積極的接種勧奨の再開に向けて、ブイチューバーを用意した新たな動画を作成して積極的に接種勧奨を行っていきたいと考えております。加えて、接種勧奨が控えられていた時期に接種ができなかった方に対するキャッチアップ接種をできる限り早く始めたいと考えておりまして、国でやる前に県独自で実施をしております。コロナの時期でどうしても始められなかった方も多いので、これからはもっと力を入れてやっていきたいと考えております。皆様にはご協力を頂ければ幸いと考えております。

子宮頸がんワクチンもがん検診もコロナにより予防に関する取組が遅れてしまっていると保健福祉部として感じているところです。コロナが少しずつ落ち着いている中、これがちょうどいい機会と思っております。来年度に向けて力を入れてやっていきますので、ご協力の程よろしく願いいたします。

(委員)

歯科口腔保健について、様々な取組ありがとうございます。

5ページの「歯周病対策」で、市町村への歯周疾患検診をされているということですが、具体的にどのような方を対象として、どのような検診、例えば、口腔内診査、歯周ポケット検診だけなのか、パノラマレントゲン検査も含まれているのか、教えていただければと思います。

(事務局)

歯周ポケットと口腔機能低下症に関する検査を実施しているところです。ベースになるところは県からお示しして、市町村によって独自に追加をされたりしております。

(委員)

歯科口腔保健について、3ページの(3)8020運動推進特別事業の、○人材育成の、ア8020推進員について、どのような方がなられて、どのくらいおられて、どのような取組活動をされているのか、教えていただければと思います。

(事務局)

歯科関係者がなられていることが多いですが、基本的には、実施したイベントに来られた方に対して、働きかけてなっただく形です。活動内容については、県歯科医師会から啓発用資料をお送りして、ご近所の方に周知していただく活動をして頂いております。人数は、320人程度の登録となっております。

(委員)

歯科関係者がなっているのですか。

(事務局)

歯科関係者が多くなっていますが、歯科関係者に限って登録している訳ではありません。イベント等に来られた方が対象となります。

(会長)

コロナ禍において、検診事業にも支障がでておりますが、全国的にまん延防止等重点措置の解除になるということで、今後、コロナ対策と検診について、積極的にどの程度やっていけばよいのか、ご意見あればお願いいたします。

(委員)

なかなか難しいところはあるかとは思いますが、少しずつ、感染対策をしっかりしながら出来る範囲でやらないといけないと思っております。特に、がん検診は、がんは命に関わる疾患ですので、しっかり行っていく必要があることを認識して、うまく両立させていくことになるかと思えます。活動する場所に応じて、感染対策をしっかりとって、ぜひ進めて頂ければと思います。

(会長)

当団体としましても、感染対策を十分にとりながら、健康な生活ができるよう活動を積極的にしていきたいと思っております。ご指導の程よろしくお願いいたします。

(会長)

他にご意見はございませんか。

ないようでしたら、本日頂きました意見等を踏まえて、今後の事業を進めて頂ければと思いますので、よろしくお願いいたします。